

経営比較分析表（令和3年度決算）

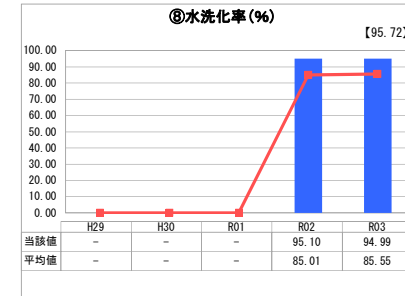
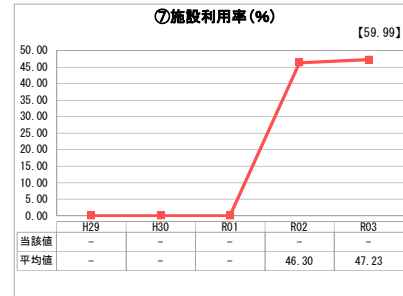
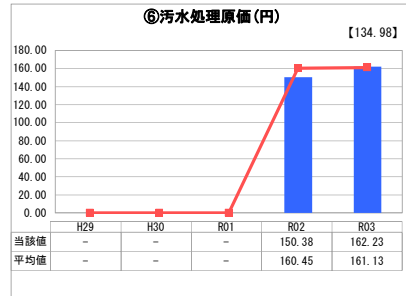
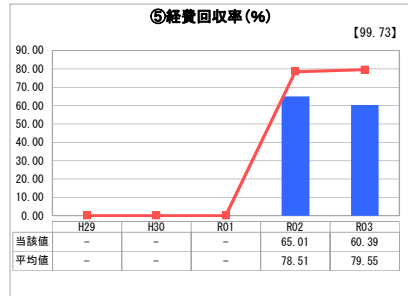
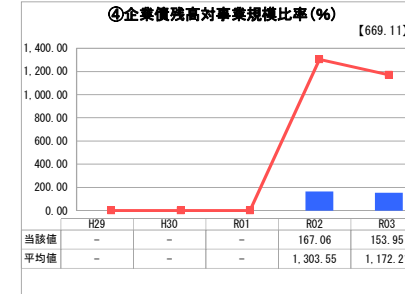
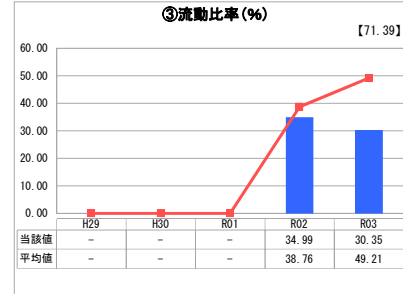
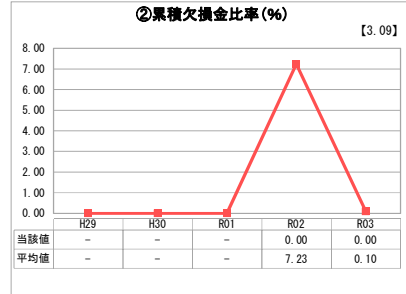
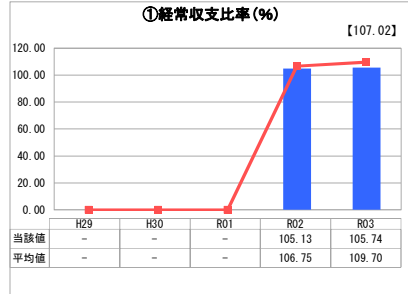
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ob2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.25	73.82	78.38	1,883

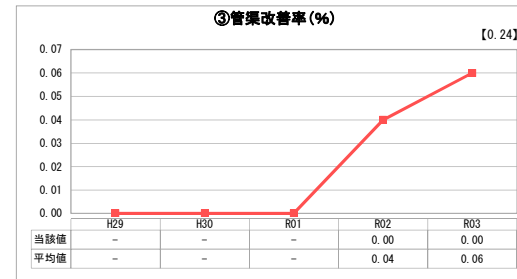
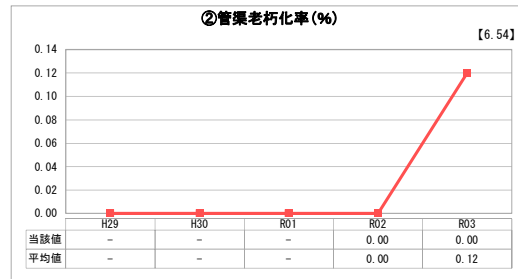
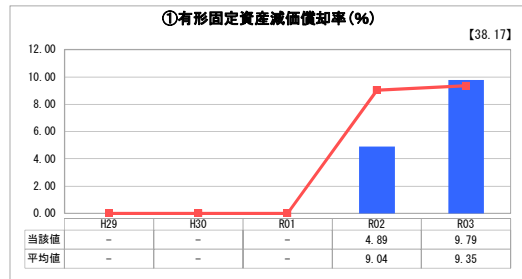
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,664	15.95	2,110.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,845	3.75	6,625.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
汚水処理費に対する使用料の収入不足を一般会計からの繰入金で賄っている状況にあります。100%を上回っているものの、経費回収率と合わせて経営改善を図っていく必要があります。
- ② 累積欠損金
累積欠損金はありません。
- ③ 流動比率
管路施設に関しては概ね整備は終了し、中継ポンプ場の長寿命化計画に基づく主要施設の更新を実施しています。過去の建設投資に対する企業債の償還額が大きく、現金金が少ないため100%を大きく下回っています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
企業債の償還に要する資金の一部を一般会計において負担することとしているため、低い数値となっています。
- ⑤ 経費回収率
100%を下回っており、汚水処理費の削減に取り組むとともに使用料の見直しを行っていく必要があります。
- ⑥ 汚水処理原価
下水道施設内調査の実施により前年比11.85円増となり、類似団体平均値を上回っています。汚水処理費の削減等の経営改善を講じるとともに、接続率の向上や使用料の見直しを行っていく必要があります。
- ⑧ 水洗化率
類似団体を上回っていますが、100%に向けて今後も接続の促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体と比較してほぼ同水準にあります。本町の下水道事業は昭和63年に着工して平成5年から供用開始しており、当該指標は令和32年をピークに徐々に増加するものと考えられます。更新需要が集積しないよう、令和4年度策定のストックマネジメント計画に基づいて計画的な施設の更新に努めます。
- ② 管渠老朽化率③管渠改善率
耐用年数を超えた管渠はありません。

全体総括

事業認可区域の整備が完了し、当面は施設の維持管理及び老朽化対策が主体になります。老朽化対策に当たっては差し迫った状況にはありませんが、計画的に施設の更新を行い、効率的な投資を図る必要があることから、令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、安心安全な下水道サービスの提供に努めます。

また、経営状況については事業運営の財源不足を一般会計からの繰入金に依存しているため、下水道事業経営戦略に基づき使用料の見直しや未接続帯の接続を促進し、経営の改善に努めます。

※令和2年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計に移行したため、令和元年度以前の指標は表示していません。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。